



総合型地域スポーツクラブ

第7号

情報ステーション

—財団法人 北海道体育協会—

平成19年度 育成指定クラブマネジャー研修会

『函館で深まる研修と交流の輪』



(財)日本体育協会・(財)北海道体育協会主催の総合型地域スポーツクラブ（以下、総合型クラブ）育成推進事業である「育成指定クラブマネジャー研修会」が、8月25日(土)～26日(日)の2日間「サン・リフレ函館」で開催されました。

この研修会には遠路はるばる、春松スポーツクラブ（羅臼町）が750kmの道のりをかけて参加したのをはじめ、全道各地から育成指定19のクラブ関係者66人が集い、講演や実技などの研修に取り組みました。また恒例になっている夜のふれあい交流会にも53人が参加し、函館名物「活イカ」に舌鼓を打ち、大いに交流の輪が広がりました。

研修会の開催にあたっては、元山口県体育協会の大野登世クラブ育成アドバイザーが、ご多忙の中を承諾いただき、参考になる講演をお願いしました。

そしてまた、会場の確保をはじめ、準備・運営などに、函館市教育委員会と函館東部地区ふれあいスポーツクラブの皆さんのご尽力によって、より大きな成果を挙げることができました。

◆8月25日 [第1日]

夢の共有化へ

1. 講演

「山口県における 総合型クラブ設立の状況」

元山口県体育協会クラブ育成アドバイザー
大野 登世



研修会の第1日目は、講演からスタートしました。講演では最初に、山口県における設立済みの22クラブの事例について話されました。その中で「ゆうスポーツクラブ」（岩国市）は、これまでの枠組みを白紙に戻し、体協を解体して中学校学校開放を設立の基盤にした例や、

「むつみスポーツ振興会」（萩市）は、既存のスポーツ振興会を改編してクラブを設立した例など、きめ細やかに1時間30分講演されました。

[まとめ] ・クラブ創りは「変革の社会運動」であり、話し合いによって地域の課題・不満を出すようにする。こうした問題点を把握することから「夢の共有化」を図る。
・何かあったら原点の理念に戻る。

2. 実技研修

実技にさわやかな汗

今年度は、多くの育成指定クラブが導入している軽スポーツ・ニュースポーツの中から人気種目として、ミニテニスとフロアカーリングに参加者全員が研修しました。



◆ミニテニス 実技指導

釧根圏域センター 山本 豊

◆フロアカーリング 実技指導

室蘭市協会
大岡武美・藤田佳伸・佐藤勝敏



◆8月26日 [第2日]

研修会の第2日目は、育成指定クラブ関係者の中から、それぞれに精通しているお2人に、実践報告・発表として講師を務めてもらいました。

3. 実践報告

「公認クラブマネジャー養成 講習会の現状について」

四里塚スポーツクラブ
事務局長 久保田 智



※自ら2006年度第1期生として、3月・5月・7月講習受講、9月8日プレゼンテーション（検定会）をもって結果を待っていることや、公認クラブマネジャーの今後などについて報告されました。

4. 実践発表

「スポーツクラブ経営士から 見た総合型クラブについて」

伊達わっくわっくスポーツクラブ
事務局長 田上 義継



※さすがにベテランのスポーツクラブ経営士の資格者らしく、「クラブの概念の整理」「地域型の意義」「伊達市における現状と課題」などについて、映像をまじえて発表されました。



後期 現地調査・ヒアリング 設立に向けより確実に

◆事業の概要

平成19年度後期（9月～11月）の現地調査・ヒアリングが、クラブ関係者の理解と協力を得ながら、無事終了することができました。この事業は前期（5月～7月）と後期に分けて、クラブ育成アドバイザーが全道19育成指定クラブを訪問して、ヒアリングを実施したり、設立準備委員会や運営委員会に参加させてもらったり、実際にイベントやスポーツ教室などを見せてもらったりするものです。

〔摩周ふれあいスポーツクラブ〕

特にヒアリングでは、クラブの会長（代表）、事務局長、会計など事務局員、教育委員会の方々が対応されることが多く、ヒアリング内容は、①クラブ理念・目標の確立と各種委員会開催の成果、②事業計画（スポーツ教室・交流大会・イベントなど）、③広報活動、④先進クラブ視察の計画、実施の成果など、⑤クラブ設立に向けての課題（会員拡大、財政基盤、プログラムの工夫など）、⑥設立総会の構想（期日、事業計画、予算、組織、会則など）以上の項目が主なもので、クラブ関係者とクラブ育成アドバイザーが共に知恵を出し、課題解決を図る場でもあります。

◆全体の総括

- ①新規クラブ事業のスタート遅れが全体に影響を及ぼしている。
- ②新規クラブのほとんどが継続指定を要望している。
- ③会計中間報告業務の推進に多少バラツキがあったものの、総てが報告期間中に提出されました。



強まる地域の絆・健康づくり



〔開会式役員紹介〕

ルポⅠ 【日高地区スポーツクラブ】

第2回 うさっぷスポーツの集い 町民運動会復活のエネルギーを町おこしに



〔クラブ員による受付〕

◆日高スポーツクラブの後期の現地調査・ヒアリングは、瀧口和成クラブアドバイザー（町教委）との事前連絡で、地域全体の活動として「第2回うさっぷスポーツの集い」（町民運動会）が、9月9日（日）午前10時に開催されると情報が入っており、大変楽しみにしながら日高地区に向いました。

町に入ると天気は快晴に恵まれ、絶好のスポーツ日和のもと、スポーツの集いに参加すると思われる子どもや保護者、高齢者など日高小学校グランドへと足を運んでおりました。会場に着くと受付では、クラブ関係者が参加者の確認やゼッケンを手渡したり、付けてやったり、細めに動いているのが印象的でした。

運動会というと花火が付きもの、打ち上げを合図に開会式の始まりです。先ず最初に主催者として東孝行クラブ会長が「沢山の町民の皆さんに参加してもらい感謝しています。今日一日大いに楽しみましょう」と挨拶。続いて三輪茂町長が祝辞として「町に総合型クラブを設立するのは私の公約。地域の皆さんとの絆づくりと健康づくりにクラブの発展に期待したい」とクラブ支援の挨拶をしました。その後同じく参加の佐々木光由教育長、斎藤順一小学校長及びクラブ役員が紹介されました。次いで、高齢者代表、一般代表、小中学生代表の3人が選手宣誓、参加者総勢200人以上によるラジオ体操を行なった後は、いよいよ町内東・西・南の三地区に分かれての対抗競技が始まりました。

◆地域の概要◆

日高地区は平成18年3月に、門別町と日高町の2つが合併して、新しく「日高町」が生まれ、地区の人口は約2,000人です。自然環境にも恵まれ、野外活動にはパークゴルフ場、スキー場など数多くあり、また研修の場として「青年の家」があります。しかし、他町村と同様に、人口減少、少子高齢化の波が押し寄せ、スポーツを取り巻く環境の課題も出ています。

◆クラブ設立の経緯・理念◆

当時スポーツ関係者は、門別町との合併によって、各体育団体の本部や事務所が門別地区に移行したため、日高地区的スポーツ振興や活動の停滞、また地域の連帯感の希薄化を危惧しました。そこで立ち上がったのは体協会長、少年団本部長をはじめ、体指、教育委員会などで、スポーツ活動を通して「課題に挑戦しよう」ということで、その一つの手段として、総合型クラブの設立に取り組むことになりました。



〔200人以上のラジオ体操〕

競技プログラム

幼児から高齢者まで「楽しんで運動する」のが理念です。

大玉ころがし、マイホーム合戦、車輪ころがし、愛のシーソーゲーム、バトンリレーなど10種目。

昼食タイム 壮観、みんなで豚汁「うまい！」

200人以上の参加者全員に、美味しい豚汁とおにぎりが配られ、子ども達は勿論のこと、参加者は満足顔がありました。



〔昼食：豚汁に舌鼓〕

所 見

日高地区スポーツクラブ主催の「うさっぷスポーツの集い」に一日参加させてもらい「これぞ本道の総合型クラブの目指すもの」という感動を覚えるものでした。三輪町長さんのクラブへの思い、体協、体指、少年団、婦人会、町内会、町教委などが、正に一体となっての取り組みがこの大きな事業に結びついています。クラブの理念・目標である「スポーツを通した町づくり」へ夢がふくらんで行くものと感じながら帰路につきました。



〔各チームのテント〕

印象強いクラブ設立への歩み

ルポII

“設立準備委員会で事業総括”



[設立準備委員会]

新冠町スポーツクラブ
10月1日(月) 新冠町レ・コード館

1. 18:00～【クラブ関係者ヒアリング】
町レ・コード館において、クラブづくりの中核として努力している鬼海将紘準備委員長、今村裕運営委員長、工藤匡事務局長そして町教委の荒木正光社会教育課長が出席してヒアリングを行ないました。課題として子ども中心のプログラムから主婦や高齢者まで、幅を広げた展開についてありました。

2. 19:00～ 現地調査【設立準備委員会・運営委員会】

この日はたまたまクラブの両委員会が開催されるとあって参加させてもらいました。会議では、サッカーや陸上運動などの「ジュニア体験教室」実施状況報告、また今後の事業の乗馬・バドミントン体験教室、異世代交流パークゴルフ大会等について検討が行なわれました。

スポーツ少年団を核にして、地域の活性化と健康づくりを理念に掲げ、着々と進んでいる印象を強く感じました。

ルポIV

“役員の結束力で順風満帆”

函館東部地区ふれあいスポーツクラブ

11月30日(金)
函館市児童センター



[役員の主要メンバー]

ヒアリング第2回目の今回はクラブ設立に向けてクラブを牽引している、奥野秀雄会長、近野功顧問、絹野重治事務局長、大野忠雄総務部長など、クラブの主な役員の方々に集まっていたとき、ヒアリングが行なわれました。

1. クラブの理念・目標

現在は5つの町会が、地域の垣根を越えて、幼児から高齢者まで、誰もが楽しく無理しないで、スポーツ活動や交流を図り、地域づくりや健康づくりに貢献する。役員はやゝ高齢ながら経験豊かで意欲的なリーダーであります。今後は更に、他町会への輪を広げて行く意気込み

2. 各種事業の実施状況

具体的な活動として、教室はソフトボール、軽スポーツ、ふれあい健康体操などを実施。大会に45人、ふれあいウォーキングには50人、ソフトバレーボール大会には120人が参加

3. 広報活動

クラブ事業等の広報宣伝については、その都度各町会の回覧板を利用している。また、更にクラブでは「カレンダー」「ポスター」も作成して広報に務めている。

4. 今後の課題

①クラブの理念・目的・活動内容を地域に如何にして浸透させて行くか。②財源は各町会はどう工夫して行くか。③魅力あるプログラムと会員増について。④平成20年2月16日ヒアリングで話されました。

5. 所見

5つの町会を基盤にして、またクラブ役員の結束力も強く安定性ある運営がなされている象を強く感じました。

ルポIII

“第2回目も盛況「スポーツレクリエーションフェスタ”

深川スポーツ健康クラブ

10月8日(月・祝) 深川市総合体育館

1. 9:00～【クラブ関係者ヒアリング】

クラブにとって最大事業である「スポーツレクリエーションフェスタ」を控える中で、生野義順委員長、村端裕理事長、篠原孝法事務局長、茶畠誠一事務局次長、佐藤千秋会計担当の方々に集まつていただき、ヒアリングを実施しました。準備委員会はこれまで4回開催し、「スポーツを通して市民の健康づくり」という理念のもとに組織を固め、体協、体指、行政が一体となって取り組んでいます。

2. 10:00～ 現地調査【第2回スポーツレクリエーションフェスタ】

前日の荒れた天候も、当日は秋晴れに恵まれたのですが、陸上競技場のグランドコンディションが悪く、屋内の総合体育館での開催に変更して実施。昨年度初開催でしたが天候も良く、多くの市民を動員して大成功でした。今年度の第2回も



[缶つぶしゲーム]

300人以上も集まり、ウォーキング、玉入れ、輪投げ、缶つぶしゲーム、体力測定など多彩なプログラムを展開、屋台や地元特産品の販売などの出店もあって盛況がありました。深川市民の子どもから大人、高齢者まで、スポーツを楽しみ、ふれ合いを深める一日になったと感じ取りました。

ラブの前身にあたる「深成。その後周辺の3町を健康づくりなど理念に立を目指している。理解と協力も大きい。

トでは、グランドゴルフ了しました。

市公報誌でPR。

るが、今後の財源の在りの詰めについてなどがヒ

立に向けて順風満帆の印

〔後期〕育成指定クラブ連絡協議会



みんないきいき生き抜くための挑戦

◆後期の育成指定クラブ連絡協議会は、全道から育成指定19クラブ関係者や平成20年度指定を目指す市町村関係者94名が参加して、講演や研究協議などの内容で実施されました。

1. 講演

「みんないきいき生き抜くための挑戦」

講師 ライフスタイル研究所 主宰 布上恭子 先生

布上恭子先生は自らのスポーツ人生を振り返り、先ず始めに「私とスポーツのかかわり」について話されました。続いて「日本のスポーツ振興の現状、課題」、更に「現在の社会背景は健康の維持増進のために何をしなければならないか。そうした時代を迎えている。」と力説。最後に「私の考える総合型クラブ普及のための提案」と講演をまとめ、参加者も納得しておりました。

2. 研究協議

第1部会・第2部会に分かれて協議

①第1部会（新規・継続育成指定クラブ関係者）

「中間報告書作成に当つての留意事項について」

担当 クラブ育成アドバイザー 中沢 昭洋

②第2部会（平成20年度指定予定クラブ関係者）

「平成20年度育成指定クラブの推薦について」

担当 クラブ育成アドバイザー 渡邊 清



[全道各地からの参加者]

◆北のクラブの普及・啓発紀行【パートⅡ】

正念場の新規指定クラブ

▶平成20年本道市町村設置率 45%



[8月24日 木古内町]



[8月23日 鹿部町]



[8月30日 幌延町]

平成20年度 指定クラブ検討市町村

石狩市	鹿部町	登別市	苫小牧市
足寄町	南富良野町	蘭越町	仁木町
中川町	泊村	北斗市	ニセコ町
当別町	小樽市	小清水町	木古内町
根室市	上ノ国町	新得町	今金町
枝幸町	紋別市	洞爺町	積丹町
池田町	美幌町	遠軽町	新十津川町
幌延町	豊頃町	豊浦町	芽室町
京極町	恵庭市	浜中町	旭川市
安平町	壮瞥町	三笠市	

総合型クラブの 設立めざして!



[12月15日 三笠市]



[9月4日 根室市]



[9月11日 豊頃町]



[9月26日 中富良野町]



[12月5日 壮瞥町]

■平成12年9月当時の文科省が国の施策として「スポーツ振興基本計画」を策定し、総合型クラブを生涯スポーツ振興の目玉に登場してから、8年の月日が過ぎようとしています。

しかしながら、本道における市町村の設置（率）は48市町村（26%）となっており、全国（49%）と取り組みを比較しても大きな差が出ており、ついに最下位となりました。勿論都道府県によってそれぞれの地域特性があるものと考えられますが、このような中で、最近各市町村において、総合型クラブに対する理解と取り組みの浸透が図られてきました。

その理由として、①この文科省事業も終盤を迎え、クラブづくりのための支援・補助金を有効に活用してクラブ設立を目指すというものです。（確かに自力で立ち上る例はありません）②全道各市町村どこにおいても、スポーツを取り巻く環境の変化の波をかぶっています。③道教委の方針では、平成20年度から5年間かけて、総合型クラブ設立100%を目指すとしています。

いずれにしても大きく前進が期待される総合型クラブの設立を、道体協の計画では平成21年には50%以上の設置率を目指すとしています。

今後の事業予定

◆「総合型地域スポーツクラブ育成推進フォーラムin札幌」

平成20年1月27日(日) 13:30~17:00

●会場 「札幌国際ビル」 中央区北4条西4丁目1
TEL 011-221-4488

●基調講演 「総合型クラブで健康づくり・まちづくり」
参議院議員 橋本 聖子 氏

●パネルディスカッション
テーマ「スポーツって楽しい！」

◆「第2回 総合型クラブ育成委員会」 2月上旬

事業・会計決算報告

(2月下旬までのもの)

◆道体協締切日 3月5日(水)となっておりますが、事業完了次第速やかに提出して下さい。

※ 予算の完全執行についてもお願いします。

※ 全部揃って日体協提出ですので期限を守って下さい。

